



学校だより

お餅がたべたいです。



冬休みの過ごし方

24日終業式の際に、次のような話をする予定です。

いよいよ冬休みが近づいてきました。2学期を振り返ると、どんな思い出や頑張ったことが思い浮かぶでしょうか。振り返りは、成長するために欠かせない大切な学びの機会です。学校でも、毎日振り返りに取り組んできました。そして、振り返りをした後は、次に向けた準備をします。そこで、冬休みについて考えてみます。

冬休みは、一年を締めくくり、家族や地域の方々と楽しい思い出を作る絶好の機会と捉えています。今年の冬も、皆さんが心温まるひとときを過ごせるよう、いくつかアイデアをご紹介します。

◇《家族と一緒に》

冬休みは、家族とゆっくり過ごせる特別な時間です。一緒に料理やゲームを楽しんだり、新年の計画を話し合ったり、普段できないことに挑戦してみたいはいかがでしょうか。

◇《地域の行事に参加》

地域では、スキーやスケート、そり遊びなど冬ならではのイベントが盛りだくさんです。地元のお祭りや集まりにも参加して、地域の方々と交流を深めてみたいはいかがでしょうか。

◇《自分だけの思い出作り》

冬の景色をスケッチしたり、日記にその日の出来事を書き留めたりするのも素敵です。一年を振り返り、来年の目標を考える時間にしてみたいはいかがでしょうか。



事故やケガに気を付けて、充実した冬休みをお過ごしください。そして、新年には元氣いっぱいの子どもたちに会えることを職員一同楽しみにしています。

○宇賀地ウインターデー開催！

宇賀地小学校の自慢のイベントです。内容は、第一部「大縄チャレンジ」と第二部「宇賀地フェスティバル」で構成されています。

第1部 大縄チャレンジ

各学級が八の字跳びに挑戦します。子どもたちは3分間で200回跳ぶという高い目標を掲げて取り組みました。驚くべきは2年生の目標値であったことです。本番では249回跳んだのです！結果発表の際には大喜びでした。そして6年生はさらに上をいき、351回跳ぶ記録を達成しました。回し手のリズムよく「はい・はい・はい…」と声をかける様子は、学級の団結を感じさせるものでした。どの学年も素晴らしく、やり遂げた子どもたちの姿に感動しました。

【1年生197回 2年生249回 3年生225回 4年生260回 5年生292回 6年生351回】

第2部 宇賀地フェスティバル

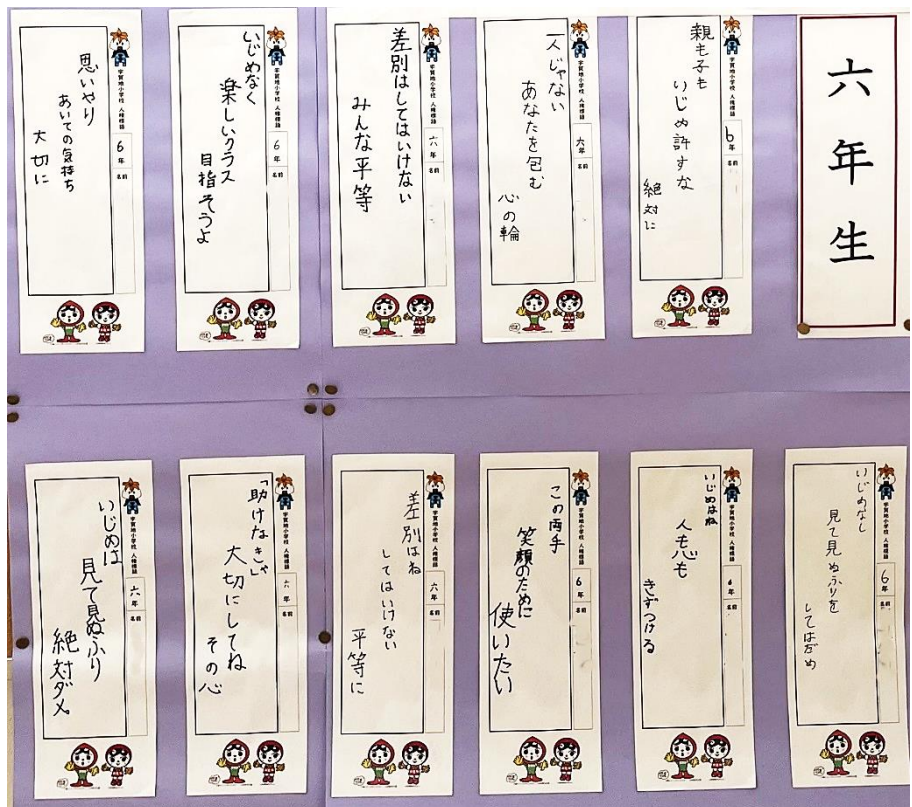
児童会が主催する縦割り班のお祭りです。子どもたちは班ごとにお店を企画し、地域や保護者の皆さんをおもてなしました。たくさんの方々に訪れていただき、子どもたちは接客に大忙しでしたが、とても楽しいひとときを過ごせました。地域や保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました！



(裏面へ続く)

○人権教育、同和教育の強調週間

自分を大切にするとともに、周りの人の大切さを認められる力を養うため、12月に人権教育強調週間を行いました。この期間、各学年で人権教育、同和教育の授業を行うとともに、「人権標語作り」の取組もありました。写真は6年生の掲示です。各ご家庭でも標語等をきっかけに、冒頭の活動のねらいについて話題にしてみたいはいかがでしょうか。



○授業を見る ～校内研修～

担任の先生は、日々授業をしています。学校では、「担任の先生が他の先生の授業を見る」という、見て学ぶための校内研修の機会があります。

先日、1年生、4年生、5年生の授業を見る機会がありました。たくさんの先生が教室に入ってくるので、子どもたちは最初こそ驚いた様子でしたが、それも最初の数分間だけです。その後は、担任の先生の声かけによって授業が進められました。

授業では、子どもたちが意欲的に学んでいくための工夫がたくさん見られました。担任の先生は、一つひとつの授業に様々な思いを込めて授業をしています。今後も、子どもたちが「分かる授業」を目指し、取り組んでいきます。



【お知らせ】

～かけはしについて～

・新潟県教育委員会において教育広報誌「かけはし」61号が作成されました。紙面のデータが新潟県HPに掲載しております。右の2次元コードを携帯端末等で読み取り、ご確認ください。

